

資料③：目視分類調査結果

## 目視分類調査結果

### 1. 目的

目視分類は、ボーリングによって得られた試料を対象として、その内容物を詳細に確認するために実施した。

### 2. 調査対象

ボーリング実施 61 箇所のうち最上部で混合廃棄物が多く確認された 8 箇所を対象に実施した。また、最上部において廃棄物の性状を把握するために実施したバックホウ掘削調査で得られた試料についても、あわせて実施した(バックホウ掘削分については別資料参照)。

### 3. 整理方法

廃棄物層(層が明確でないコアは 1.0m)ごとに内容物の確認を行い、一覧表として整理した。分類項目は「建設廃材(ここでは、コンクリートガラ・レンガ片・石膏ボード・タイルを対象とした)」「紙」「木」「プラスチック」「陶磁器・ガラス類」「金属」「布」「複合物」「土砂」の 9 種に分けるとともに、目視により判別可能なものについては、具体的な品目を記載した。

### 4. 結果と考察

調査結果総括表を表 1 に、各ボーリングごとの集計表を表 2 以降に示す。

各ボーリング共通して、上記 9 種の廃棄物が確認できた。中段部よりの「b-25、b-31 のコア」と「その他のコア」を比較すると、「その他のコア」では、紙・プラスチック類が多く確認された。また、廃棄物は比較的品目が確認できる廃棄物が多く、不法投棄後の時間の経過が少ない状態にあると考察される。

目視分類の結果、廃棄物は建設廃棄物が主であり、廃酸・廃アルカリ等、医療系廃棄物などの「有害産業廃棄物」は確認されなかった。

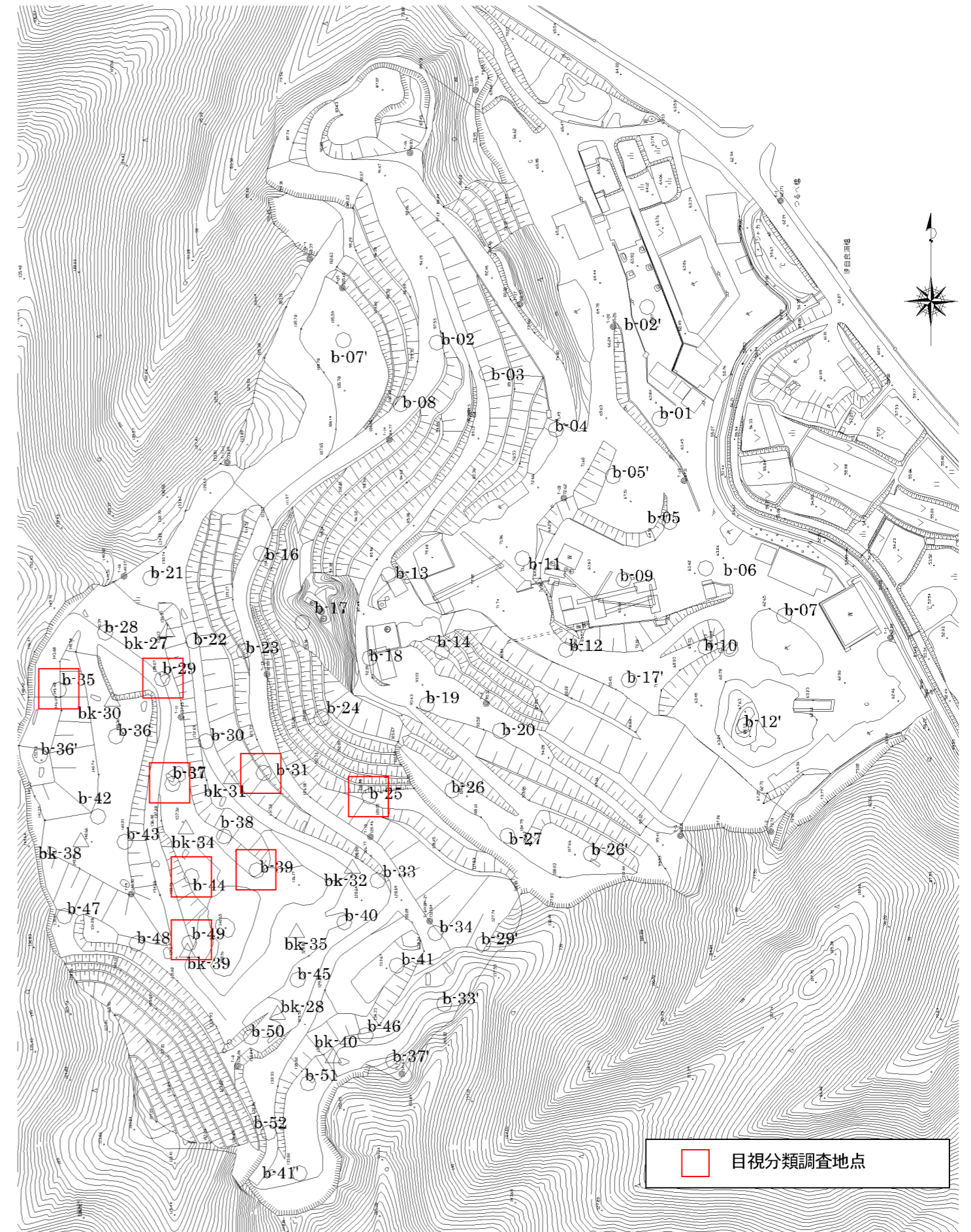


図1 目視分類調査地点図





表3 目視分類集計表 (b-29)

目視分類区間 深度 (m)	建設廃材					紙		木			プラスチック				陶磁器・ガラス屑			金属					布				複合物		土砂		その他					
	コンク リートガ ラ	レンガ片	瓦	石膏 ボード	タイル	その他	紙くず	その他	角材片	合板	木屑	その他	ビニール	ビニール 紐	水接管	プラス チック片	その他	ガラス片	陶器くず	その他	空き缶	釘	アルミ片	鉄片	その他	布	衣服	じゅうた ん	その他	電線		その他	土砂	その他		
0.00~3.00										○	○																							○		
3.00~8.00	○	○	○	○	○		○	厚紙ボ ード	○	○	○	炭化木片	○	○		○	発砲スチロール 異品チューブ プラ両掛け紐 スポンジ	○	○	空き瓶片		○			缶金		○	カーテン 袋					○		○	板状のゴム ゴムホース 燃え殻
8.00~8.35	○	○									○					○	プラ両掛け紐																	○		
8.35~14.65	○		○					雑誌 段ボール	○	○	○		○			○						○	○	○	鉄骨						○		○		燃え殻	
14.65~15.25	○	○	○								○							○						○										○		
15.25~28.00	○		○				○	土管片	○	厚紙ボ ード	○	○		○	○		○	プラ両掛け紐	○	○	空き瓶片	○			ブリキ片				ひも		○		○		○	ゴム片 燃え殻
28.00~30.50	○				○						○						○	ポリタン片					○									○		○		
以下：埋土および基盤岩																																				

